AMRESCO　Agarose SFR　(J234-100G)

・高分離能
・クリアなゲル
・低融点　（≤70°C）
・200 – 1000 bp の領域において最高の分離能を発揮します

ゲル濃度(%)	最適な分離範囲(bp)	推奨バッファー
2.00	500−2,000	TAE/TBE
3.00	100−1,000	TAE/TBE
4.00	50−500	TAE/TBE
5.00	20−250	TAE/TBE

推奨バッファーの選択方法

バッファー	用途
TAE TBE	・サイズの大きい DNA フラグメント 12 kb)の調製用電気泳動 ・緩衝能が低いために 6 時間以上の泳動にはバッファーの循環が必要 ・解析用電気泳動 ・1kb 以下の DNA フラグメントの分離 ・緩衝能が大きい

ご使用方法

＊濃度が5%以上の場合は、オートクレーブを使った溶解をおすすめします（121℃、15 分）

電子レンジを使った溶かし方

1. Agarose を量り取り、フラスコ等に入れたバッファーとよく混合します。
2. Agarose 、バッファーを入れた容器全体の重量を量っておきます。
3. 電子レンジ(強)で 30 秒間加熱します。
4. 溶液をよく混合します。
5. 3 と 4 の手順をもう 1 回行います。
6. 電子レンジ(強)で、溶液が沸騰するまで過熱します。
7. 電子レンジから容器を出し、1～2 分静置して粗熱を取ったら、溶液を混合します。
8. 再び電子レンジで 15 秒間加熱します。

9. アガロースの固まりが残っていないか確認し、完全に溶けるまで電子レンジ加熱を繰り返します。

10. 容器全体の重量を量り、減った分だけ水を足します。

11. スターラーで溶液を混合しながら、50～55℃になるまで冷まします。

12. ゲルトレイにアガロース溶液を流し込みます。

13. すばやく、気泡が入らないようにコームをセットします。

14. アガロースがゲル化するまで静置します(30～45 分間)。

15. （オプション）最高の分離能を得るために、室温で完全にゲル化した後、泳動前に 4℃で 30 分間静置してください。

株式会社エムエステクノシステムズ
●大阪　電話 06-6396-6616
●東京　電話 03-3235-0673